

第7学年4組 英語科学習指導案

令和5年11月24日（金）

指導者 嵐谷 恭子

- 1 単元名 School Life in the U.S.A. / Discover Japan
(NEW CROWN English series 1 Lesson 5, Lesson 6)

2 単元の見目

附属義務教育学校をシアトルの中学生に紹介するために、学校生活や行事等について事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

3 内容のまとめ

書くこと	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
------	--

4 単元の評価規準（書くことの評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・現在進行形や一般動詞（規則・不規則）の過去形の特徴やきまりを理解している。・学校生活や行事等について、現在進行形や過去形などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">・附属義務教育学校をシアトルの中学生に紹介するために、学校生活や行事等について事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	<ul style="list-style-type: none">・附属義務教育学校をシアトルの中学生に紹介するために、学校生活や行事等について事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

5 基盤

（1）教材観

本単元は、Lesson 5 と Lesson 6 の2つのユニットで構成される。Lesson 5 は、マークのスピーチや、アメリカに住んでいるリサからのメールを通して、花たちがアメリカの中学校生活について知っていくという場面設定である。その中で、マークやリサが現在進行形を用い、写真の人物がしていることを説明しながら、アメリカの学校生活について具体的に紹介している。Lesson 6 は、オーストラリアから来たケイトが日本での1年間の思い出をブログに投稿するという場面設定である。文法事項としては、一般動詞（規則・不規則）の過去形が取り上げられており、ケイトが新潟と香川へ旅行に行ったときにしたことやその時の気持ちが一般動詞の過去形を用いて書かれている。

以上のことから本単元は、学校生活や行事について事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く活動に適した単元であると考えられる。本校の学校行事等の写真を使って、その様子や詳しい内容を説明し、その行事等を行ったときの自分の気持ちなども入れながらまとまりのある文章で紹介文を書く力を育みたい。

（2）生徒観

本学級は、ペアでのスモールトークやプレゼンテーションなどの英語での表現活動に前向きに取り組む生徒が多い。ペアやグループの中でお互いに聞き合ったり、教え合えあったりするなど、助け合いながら学習を進めることもできる。一方で、英語を書くことに困難さ・つまづきを抱えている生徒もいる。書きたい内容が浮かんでも、単語のつづりが分からなくて書けない生徒、単語の使い方が分からなくて書けない生徒、どんな表現を使えばよいか分からなくて書けない生徒などがある。UDL（学びのユニバーサルデザイン）の視

点を取り入れた授業設計を行うことで、そういった様々な生徒が自らの選んだ方法で言語活動に取り組めるよう支援し、より多くの生徒が学習目標を達成することができるようになることをねらいたい。

(3) 指導観

① 相手意識や目的意識が明確になる単元構想の工夫

本校では、米国中学生と学校生活をともにすることを通して、異文化への理解を深め、コミュニケーション能力を高めるために、毎年、シアトルの中学生と交流活動を行っている。今年度も7月に2日間にわたり24人のシアトルの中学生が来校し、本校の生徒と授業や掃除、球技大会などの学校生活をともに過ごした。その際、シアトルのミドルスクールについてのプレゼンテーションを聞いて、日本の学校との違いを知り、アメリカの中学校生活に興味をもった生徒も多くいた。

本単元のゴールを「シアトルの中学生に附属学校の学校生活や行事などを紹介しよう(書くこと)」とした。7月の学校訪問の際は、「シアトルの中学生に日本のおすすめのものを紹介しよう」という目標で、シアトルの中学生に実際にプレゼンテーションを行った。その振り返りでは、「シアトルの中学生にもっと分かりやすく伝えたい」「日本との違いが感じられる対話をしたい」などの前向きなコメントが多かった。相手をシアトルの中学生とすることで、相手意識や目的意識がより明確となると考える。単元を通して、相手が興味をもつような内容や理解しやすい表現方法などを考え、表現する力を身に付けることができるように指導していく。

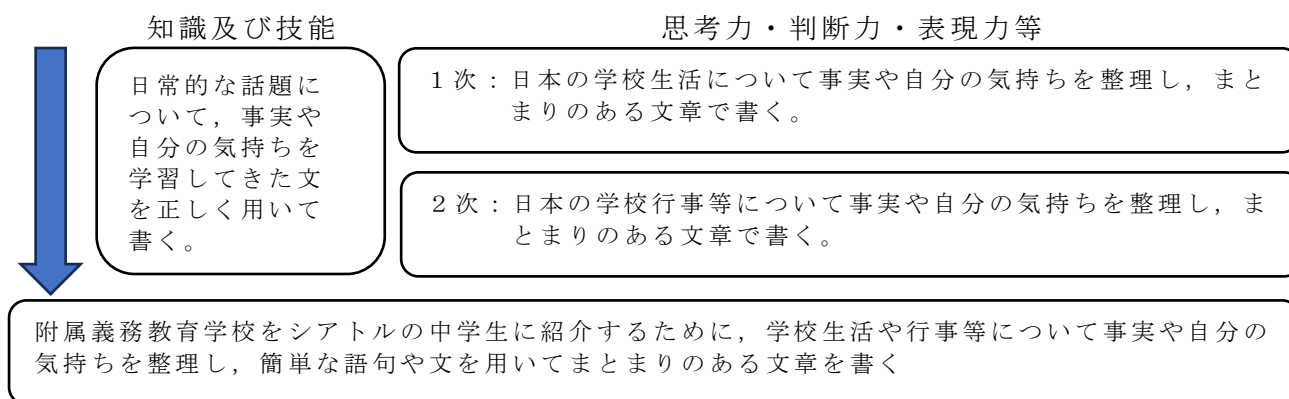
本単元では書く力の育成を目標としているが、書く活動に取り組む前に「その場で考えて伝え合う」活動を継続的に取り入れる。第1次では、写真の人物がしていることを説明する活動を、第2次では、自分がしたことやその時に感じたことを伝える活動を行う。自分の知っている語彙や表現を駆使して伝える継続的に行うことで、即興力をつけるとともに新しい言語材料の定着を図っていく。第2次では、過去形が新出であるが、小学校の外国語科では夏休みの思い出を語る際などに、不規則変化を含む活用頻度の高い過去形を使った指導を行っている。そこで、小学校で慣れ親しんだ過去形を用いた表現で伝え合う活動をした後、話した内容をふまえて書くことから始める。段階的に過去形の使い方の理解を深めながら、自分の文章を産出できるように指導したい。

② 個に応じた支援場面の設定

4月より生徒たちが困難さを感じた際に、自分に合った学びの方法を選んで学習に取り組めるよう、UDLの視点を取り入れた支援を行ってきた。様々な言語活動に対して、その目標を達成するために、生徒が自分に合った学習方法(オプション)を選んで取り組むことができるような支援を取り入れた。本単元は「書くこと」をねらいとしているが、英語を書くことに苦手意識をもっている生徒は少なくない。そこで、ヒントカードやICT端末等、生徒自身が選択・調整できるオプションを取り入れ、授業実践に取り組んだ。分からないから書くことをあきらめるのではなく、生徒が自分なりの方法で学習活動に向かえるようにしていきたい。

6 指導と評価の計画

(1) 指導の考え方



(2) 各課の指導と評価の計画

次	時	ユニット	目標 (■) 及び主な言語活動 (●)	評価
1	1 ～ 8	Lesson 5	<p>■附属義務教育学校をシアトルの中学生に紹介するために、学校生活について事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>●学校生活等の写真を用いて、事実や自分の気持ちを整理しながら伝え合う。その後で、話した内容を踏まえて、学校生活などを説明する文章を書く。</p>	<p>・Lesson 5の最後の授業における言語活動において、評価規準に照らした評価を活動の観察及びワークシートへの記述内容により行う。</p> <p>・Lesson 5からLesson 6を通じて指導したことがどの程度習熟・育成されたかを評価するために後日パフォーマンステストを行う。</p>
2	9 ～ 17	Lesson 6	<p>■附属義務教育学校をシアトルの中学生に紹介するために、学校行事等について事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>●学校行事等、過去の出来事について、事実や自分の気持ちを整理しながら伝え合う。その後で、話した内容を踏まえて、学校行事などを紹介する文章を書く。</p>	<p>・2次の最後の授業における言語活動において、評価規準に照らした評価を活動の観察及びワークシートへの記述内容により行う。</p> <p>・Lesson 5からLesson 6を通じて指導したことがどの程度習熟・育成されたかを評価するために後日パフォーマンステストを行う。</p>
後日			パフォーマンステスト (ペーパーテスト)	

(3) Lesson 6 の指導と評価の計画

時	ねらい (■)・言語活動等 (丸数字)	知	思	態	備考				
1	<p>■ これまでに行った学校行事について何をしたか、その時の自分の気持ちなどについて伝える。</p> <p>① 学校行事の写真を用いて、思い出を伝え合う。その後、一般動詞(規則・不規則)の過去形(肯定文)の特徴やきまりを簡単に確認する。</p> <p>② 自己目標を設定する。</p>				<p>・ 学習の振り返りは適宜行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>即記 導に 即生 録か して だ生 け徒 にす は評 な活 ら動 ないは よう毎 十分時 留間 意必 ずず 行行 う況 。確 実実 に見 届届 けて 指さ せて 指に</p> </div>				
2	<p>■ 最近、休日にしたできごとについて伝え合う。</p> <p>① 教科書の内容理解を通して一般動詞(規則・不規則)の過去形(肯定文)の使い方を確認する。</p> <p>② 最近、休日にしたできごとについてペアで伝え合う。</p>								
3 ・ 4	<p>■ 最近、休日にしたできごとについて、自分の気持ちなども入れながら書く。</p> <p>① 教科書の内容理解を通して一般動詞(規則・不規則)の過去形(疑問文)の使い方を確認する。</p> <p>② 最近、休日にしたできごとについて、ペアで尋ねたり、伝え合ったりする。</p> <p>③ 話した内容を踏まえて、休日にしたできごとについて書く。</p>								
5 ・ 6	<p>■ ケイトのブログを読んで、事実や自分の気持ちをまとまりよく書く方法や外国の人が理解しやすいような書き方の工夫について知る。</p> <p>① ケイトのブログを読み、概要を捉える。</p> <p>② 教科書本文を通して、事実や自分の気持ちをまとまりよく書く方法や外国の人が理解しやすいような書き方の工夫について考える。</p>								
7 (本 時) ・ 8	<p>■ 学校行事の写真を用いて、事実や自分の気持ちを整理し、まとまりのある文章を書く。</p> <p>① 学校行事の写真を用いて、事実などを整理しながらペアで伝え合う。</p> <p>② 話した内容を踏まえて、学校行事について紹介する文章を書く。</p> <p>③ 自分の伝えたいことが伝わるように、よりよい表現や内容を追及する。</p>								
9	<p>■ 附属義務教育学校をシアトルの中学生に紹介するために、学校生活や行事等について事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く。</p> <p>① 学校生活や学校行事等について、まとまりのある文章を書く。</p> <p>② 自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>					○	○	○	活動の観察及びワークシートへの記述内容により評価する。
後日	パフォーマンステスト (ペーパーテスト)					○	○		

7 本時の学習

(1) 目標 学校行事の写真を用いて、事実や自分の気持ちを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	学びの多様性 (予想される困難さ・つまづき)	教師の支援
<p>1. Warm up (1) Greeting (2) English Song</p> <p>(3) Small Talk</p> <p>(4) 本時の学習目標を確認する。</p>	<p>・曲に合わせて歌うことが難しい。</p>	<p>オプション</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① プリント(全文表示)を見ながら歌う。 ② スクリーンに表示された歌詞(一文ずつ表示)を見ながら歌う。</p> </div> <p>・後の活動につなげるように、遠足の写真を見ながら、行事について紹介する表現を使って生徒とやり取りする。</p>
<p>シアトルの中学生に附属学校の行事を紹介するメールを書こう</p>		
<p>2. 学校行事の写真を用いて、ペアで伝え合う。</p> <p>(1) 教師のモデルを聞く。</p> <p>(2) 学校行事の写真(球技大会・運動会・音楽会・遠足)を用いて、ペアで伝え合う。</p> <p>This is a picture of our chorus contest. Students are singing on the stage. Our class sang "Believe."</p> <p>(3) 生徒数名が全体で発表する。</p> <p>(4) 全体で共有したポイントを意識して、写真を変えてペアで伝え合う。</p> <p>3. シアトルの中学生に、附属学校の行事(球技大会・運動会・音楽会・遠足)について紹介するメールを書く。</p> <p>(1) 学校行事の写真を用いて、紹介メールを書く。</p> <p>This is a picture of our chorus contest. Students are singing on the stage. Our class sang "Believe." We practiced very hard after school. I had a great time.</p>	<p>・写真の状況や行事について説明する内容が思い浮かばない。</p> <p>・話したい内容が浮かんでも、単語が分からない。</p> <p>・話したい内容が浮かんでも、英語表現が分からない。</p> <p>・メールに何を書いたらよいか、内容が浮かばない。</p> <p>・伝えたい内容が浮かんでも、単語が分からなくて書けない。</p> <p>・伝えたい内容が浮かんでも、語順や構文が分からなくて書けない。</p> <p>・書くことが苦手で、ICT 端末を使ったほうが書きやすい。</p> <p>・1人でじっくり考えたい。または、友達や先生に相談しながら考えたい。</p>	<p>・活動の仕方が理解しやすいように、デモンストレーションを示す。</p> <p>オプション</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 自分で考える。 ② ヒントカードを参考にしながら考える。 ③ ヒントのついた写真を使って考える。</p> </div> <p>・言いたかったけど、言えなかった表現などをクラス全体で共有し、簡単な英語で伝えられるようにする。</p> <p>・クラスで共有することにより、事実だけでなく、その時の自分の気持ちを入れるなど、よりよい紹介の仕方について気づけるようにする。</p> <p>・自分が取り組みやすい方法を自由に選択し、メールが書けるようにする。</p> <p>・必要に応じて個別に声をかけながら、取り組みやすい方法でメールが書けるようにする。</p> <p>オプション<内容の構成></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 英語で書く。 ② 思考ツール(マッピング)を使って考えを整理する。 ③ メモを使って考えを整理する。</p> </div> <p>オプション<原稿を書くもの></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 紙のワークシートに書く。(罫線あり) ② 紙のワークシートに書く。(罫線なし) ③ ICT 端末を用いて書く。</p> </div>

<p>(2) 友達が書いた紹介メールを読んで、シアトルの中学生がより興味をもつような内容や理解しやすい表現方法などについて考え、自分の紹介メールに生かす。</p>	<p>見届けの視点 学校行事について、事実（何をしているところか、何をしたかなど）に自分の気持ちをつけて紹介する文章を書いている。【評価方法 ワークシート】</p>	<p><調べるツール></p> <ul style="list-style-type: none"> ①教科書やこれまで使った教材 ②辞書やピクチャーディクショナリー ③電子辞書（単語，例文のみ） ④ヒントカード ⑤友達に聞く ⑥先生に聞く
---	--	--

(3) 見届けの視点

目標が達成されたと判断される状況	努力を要する状況への手立て
<p>学校行事について、事実（何をしているところか、何をしたかなど）に自分の気持ちをつけて紹介する文章を書いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が浮かばない生徒には、思考ツール等のオプションを活用したり、話した内容を参考にしたりするように助言する。 ・伝えたい内容が浮かんでも単語等が分からなくて書けない生徒には、ヒントカード等のオプションを活用するように助言する。